

普及活動情勢報告（平成27年8月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

直販所加工品の魅力アップを～高知市直販所連絡会講習会～



講演を熱心に聞き入る参加者

普及所から高知市直販所連絡会に、6次産業化普及活動推進事業の活用を働きかけた結果、7月23日、JA高知市で37名の加工品販売者や販売予定者の参加で、加工品講習会が開催されました。奈良県の㈱シンセニアン勝本吉伸氏の講演「直販所の売り上げにつながる加工品の売り方・磨き方」と、持ち寄った加工商品・試作品およそ20品の求評会を行い、勝本氏からアドバイスを受けました。

参加者からは「大変分かりやすい内容だった。自分の商品以外についてのアドバイスも大変参考になった。」の声。今後普及所は、取り組み可能なアドバイスの実行について支援していきます。

ユリの切れ目ない出荷を目指して～球根の植付け計画検討会～



植付け計画を協議する生産者

7月23日、JA高知市長浜支所園芸部花卉部会で、28園芸年度ユリ球根植付け計画検討会を開催しました。この会は、ユリの主力品種が年間を通じて切れ目なく出荷できるよう、全戸で栽培計画を決めるために毎年開催しています。普及所からは、昨年度多発したユリの病害虫について紹介し、適期の防除対策の徹底を呼びかけました。

普及所は、28園芸年度も、ユリの有利販売に向けた取り組みや、品質の向上に向けて、JAと連携した活動に取り組んでいきます。

「みんな漬け」をみんなで考える～6次産業化支援チーム会～



試作品を前に検討をするチーム員

JA高知市女性部土佐山支部の「みんな漬け」（梅の甘酢漬け）は、今年度より6次産業化普及活動推進事業を活用して、6次産業化サポートセンターのアドバイザーから支援・助言を受けながら販路拡大、県域流通を目指しています。

普及所はJAや地域支援企画員の協力を得ながらチーム会の立ち上げを支援しました。7月28日の会では「みんな漬け」を使った料理レシピと試作品を持ち寄り、それらが販売店舗で提案できるか検討を行っています。今後も、普及所はチーム会の課題解決に向けた活動を支援していきます。

さらなる収量アップを目指して！～ J A 高知春野環境制御技術勉強会の開催～



熱心な意見交換の様子

8月4日にJ A 高知春野にて、生産者等28人の参加で、環境制御技術勉強会が開催されました。県産地・流通支援課の細川専門技術員から「施設園芸作物における環境制御技術」の講演、普及所からキュウリの実証試験結果の報告を行いました。参加者から「プレナイトドロップの効果は？」「炭酸ガス施用で収量は上がっても雇用費が多くなるのでは？」等の具体的な質問がありました。それらの質問に丁寧に答えながら意見交換が行えました。普及所はJAと連携し、今後も実証圃の設置や勉強会等を実施し、さらに環境制御技術の実証と推進を行っていきます。

伝統作物の復活を！ ～ Team Makino が始動 ～



採種目的なので株間を広く定植

最近、故牧野富太郎博士の指示により個人が保存していた多くの伝統作物の存在が確認されました。種子を託された農家を中心に『Team Makino』を結成して伝統作物の復活に向けた活動の機運が高まり、普及所は、採種方法や栽培計画、関係者との調整等を支援しています。

「㈱大豊ゆとりファーム」が管理するハウス2棟を採種用として利用できるようになり、活動の一環として8月3日はダイズ5品種、8月12日はインゲン6品種をチーム員が定植しました。さらに、マメ類の後にはアブラナ科野菜の採種も計画しています。

今後普及所は、伝統作物の保存、復活にとどまらず、異業種との連携や県内外の産地との交流についても支援していきます。